

図書館潜入レポート

図書館は皆さんのニーズに幅広くお応えするため、いろいろな場所を用意しています。場所ごとに役割があり、並んでいる資料や使い方が違ってきます。今回は、図書館職員5名がそれぞれの場所に潜入をして、報告をします！ぜひ参考にして、図書館を使いこなしてください。

図書館1階

1

閉架書庫



図書館には書庫と呼ばれている鍵のかかったスペースがあります。書庫には研究用に使われる図書や貴重書などが所蔵されています。書庫内図書の基本的な利用方法は職員による出納ですが(大学院生、教職員は除く)、書庫ガイダンスを受講すれば自由に書庫に入室し、図書の利用ができます。興味のある方はぜひ、ガイダンスを受講してください。ガイダンスの受講申込みは、参考調査カウンターで受付しています。

図書館2階

3

研究個室

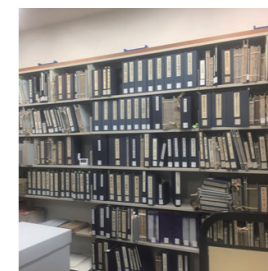


2階の西南のエリアを調査すると、扉が10個並んでいます。この研究個室は、周りの目を気にせず集中して論文執筆などに取り組む皆さんに用意している場所です。最終学年の学部学生や大学院生の皆さんは、1日6時間(空室がある場合に限り延長可)利用できます。時期によっては満室になる、とても人気の場所です。利用申し込みは1階貸出カウンターで受付しています。

図書館3階

5

貴重書庫



閉架書庫3階の一部は、貴重書室になっています。年代が古く、保存環境の管理が必要とされる資料が並んでいます。24時間空調や除湿器を動かして、室温と湿度を一定に保っています。三重大学OPACで検索をして、所在が「図・書庫・和装本」になっているものは、貴重書室にあります。貴重書室の図書を利用する場合は、事前に手続きをお願いします。手続きは、参考調査カウンターで受付しています。



2

雑誌バックナンバー(閉架)



新聞コーナーの奥に鍵のかかった部屋があります。雑誌バックナンバーエリア1Fには1983年以前の和雑誌や地方公共団体刊行物などがあり、2Fには1983年以前の洋雑誌が並んでいます。このエリアの雑誌を利用する場合は、エリアの入口などにある「書庫内雑誌請求票」を記入して、カウンターまでお越しください。職員が雑誌を出納します。受付は平日9:00~16:50です。

タイトルのABC順に雑誌が並んでいます



4



玄関ホール階段そばに、フクロウの像があります。このフクロウは、2005年に宮田脩平先生(三重大学名誉教授、金属工芸作家)よりご贈りいただきました。正式名称は「教育の神様」。公募によって「ブッコロウ」という愛称もつけられました。ブッコロウはいつも三重大学の学生の皆さんを見守ってくれていますよ。

いろいろな場所の
特徴を紹介するよ!

6

3階閲覧室



図書館3階には、個人用の閲覧席や大型の資料を広げることができる机などがあります。3階はサイレントエリアのため静かで勉強に集中する時には最適な空間です。ノートパソコンの持ち込みもNGであるため、キーボードを叩く音もしないくらいです。それでも扉の開け閉めや足音などの生活音は問題ありません。試験に備えて勉強するとき、利用することをぜひおすすめします。